

事故調査委員会議事録（第6回）

令和5年3月6日

1 開催日時場所・出席者

令和5年3月6日午後3時30分～午後4時30分

出席者：近藤委員長ほか委員3名・事務局根本

ニッセー防災[REDACTED]・日本ドライケミカル[REDACTED]
全委員・事務局等各執務場所からWEB参加

2 委員会の内容

- (1) 委員長が会議を主宰（会議の様子は出席者の同意を得て録画した。）
- (2) 日本ドライケミカルに対して、2023年3月1日付「裾野市民部下センター 開放型スプリンクラー設備現場検証実施報告書」内に記載の①メーカー調査、②現場での漏水調査（以下、①、②を併せて「本件追加調査」という）を行った場合のスケジュール予定について確認。日本ドライケミカルからの回答は以下のとおり。
 - 3月28日 漏水調査開始（但し、要事前準備）
 - 4月28日頃 漏水調査終了
 - 5月初旬 メーカーへのバルブ調査依頼
 - 5月中旬 メーカーからのバルブ調査結果回答
- (3) 本件追加調査を行う際の費用概算、及びこれまでに調査に要した費用について、9日までに、日本ドライケミカルより提示予定とされた。なお、日本ドライケミカルに発生した（あるいは今後発生する）調査費用について、現状、日本ドライケミカルとしては一時預かりとしているものの、誤放水の原因が判明し、自社に原因のないことが確認された場合には、これを請求したい旨の意向が示された。
- (4) 日本ドライケミカルより、本件追加調査について、2月22日にシンフォニエッタ楽団が行った調査の際に、手動起動弁を起動・放水したことに伴う残り水が加圧配管内に残っている可能性があり、3月28日からの漏水調査に若干の影響が生じる可能性が示唆された。
- (5) 最終調査報告書の提出期限について、委員会からは、バルブ調査結果の受領時期、同結果の分析にかかる時間、報告書の作成にかかる時間等を考慮すると、6月末日までの提出が難しく、場合によっては、9月末日までとする必要

があるのではないか、との懸念が表明された。この点は、委嘱者たる裾野市の意向もあるため、事務局から裾野市へ確認することとなった。

- (6) 本件追加調査の実施について、シンフォニエッタ楽団へ事前告知等の対応をするか否かについては、これまで、別々に調査を行ってきた経緯から、基本的には積極的に事前告知する必要性はないと考えられるとの意見となった。
- (7) 日本ドライケミカルから、調査終了後、判明した原因（設備瑕疵、人為的、原因特定不可等）に応じた裾野市の対応がどのようなものとなる予定か質問があった。この点、事務局から、現状では未定であるが、状況に応じ、任意の協議、訴訟対応となる可能性がある点が説明された。
- (8) 日本ドライケミカルから、調査委員会作成にかかる報告書内には、事故当日の状況等を前提に、人為的可能性を推論する旨の記載がなされる可能性があるのか質問があった。この点、調査委員会による調査は、今回の誤放水の原因となる設備の問題の有無の検証を目的としていることから、積極的に人為的可能性を推論する旨の記載をする予定はない旨が説明された。ただし、調査結果の内容次第では、反射的に人為的操作の可能性が推認される可能性がある旨も説明された。

3 次回期日（第7回委員会）

未定（日本ドライケミカルより、今後の調査計画書が提出された時点で日程調整を行う予定）

以 上